

開講科目名	日本語中上級 IIIA			
成績入力担当	新 聖子	開講区分		単位数
		第1クォーター		0.0単位
ナンバリングコード	R1IG073	曜日・時限等	水2(対面)	時間割コード

授業のテーマ

中上級レベルの日本語（4技能）を総合的に身につける。

授業の到達目標

1. 中級後半レベルの語彙・文法を適切に使うことができる。
2. 抽象的あるいは高度に文化的な話題について議論することができる。

授業の概要と計画

この授業は対面で行う。

日本語中上級Ⅰ～Ⅲでは同じ教科書を使用し、週3回の授業で1課分の学習をする。一部のクラスのみ履修することも可能だが、学習効果を促進するため、できるだけ全クラスを履修することを推奨する。各クラスの主な活動は下記の通り。このクラス（日本語中上級Ⅲ）では、「話す・聞く」を中心に行う。

- Ⅰ. 読む・書く、Ⅱ. 文法、Ⅲ. 話す・聞く

授業のスケジュールは以下の通り。

1週目 4/8：オリエンテーション、13課

2週目 4/15：14課

3週目 4/22：15課

4週目 5/8：課題学習

5週目 5/13：16課

6週目 5/20：17課

7週目 5/27：18課

8週目 6/3：復習、期末試験

全8回（15時間）

*日本語中上級ⅠA－ⅢA：週3コマ全8週（総時間数45時間）

成績評価方法

- ① 期末試験50%、②各課課題25%、③授業活動及び授業参加度25%で評価する。

成績評価基準

①期末試験は、習った項目を適切に使えるかどうかで評価する。

②各課課題は、提出期限内に、きちんと提出しているかどうかで評価する。

③授業活動及び授業参加度は、授業への集中度と、授業時の活動への主体的な貢献により評価する。

※出席率70%以上を満たすことが、成績評価の前提条件となる。すなわち、この条件を満たさない場合、自動的にF（不可）とする。連続授業のため、毎週少なくとも2回は履修するのが望ましい。

履修上の注意（関連科目情報）

対象者：

本授業は中上級レベルの授業である。中級レベルの学習を終えている、あるいはGEC-Jtestで「中上級レベル」と判定された学習者を対象とする。

教科書及び文法解説書を各自で用意すること。

関連科目情報

1. 連続授業のため、「日本語中上級IA, II A」と併せて受講することが望ましい。「日本語中上級IA, II A,」が受講できない場合は、スケジュールをもとに、不足分を自習により補っておくこと。

2. 「日本語中上級 I B～III B」を続けて受講することが望ましい。

事前・事後学修

（事前学習）

『みんなの日本語中級II 翻訳・文法解説』の「語彙」及び「文法解説」のうち、その日に学習する「話す・聞く」の箇所について事前に目を通してくること。

（事後学習）

1. 授業中に学習した表現や語彙を覚えること。

2. 復習として宿題を毎回課すので、必ず期限内に提出すること。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

質問はなるべくクラス内ですること。その他、このクラスについて相談が必要な場合は、主任の波多野（はたの）に連絡すること

オフィスアワー：月曜日4限（15:10-16:40）（グローバル教育センター3階 波多野研究室）。これ以外の時間は事前に予約をとること。

メールアドレス：hatano.hiroaki[AT]harbor.kobe-u.ac.jp

※上記のアドレスの[AT]の部分を実アットマーク@（半角）に置き換えた上で宛先を入力。

学生へのメッセージ

1 教科書及び文法解説書を各自で用意してください。

2 授業を通して語彙や表現を学び、その量が着実に増えることで、豊かな表現ができるようになっていくでしょう。そのためには主体的に学んでください。

今年度の工夫

できるだけ学生一人一人が話す機会を多く設ける

教科書

1) 『みんなの日本語中級II 本冊』（スリーエーネットワーク）ISBN:9784883195909

2) 『みんなの日本語中級II 翻訳・文法解説』（スリーエーネットワーク）ISBN:9784883196142 （英語版）

※2)は英語版をはじめ7カ国語版があります。自分にあった言語の本を選んでください。

参考書・参考資料等

特になし

授業における使用言語

日本語

キーワード

日本語、中上級、聞く、交換留学生可